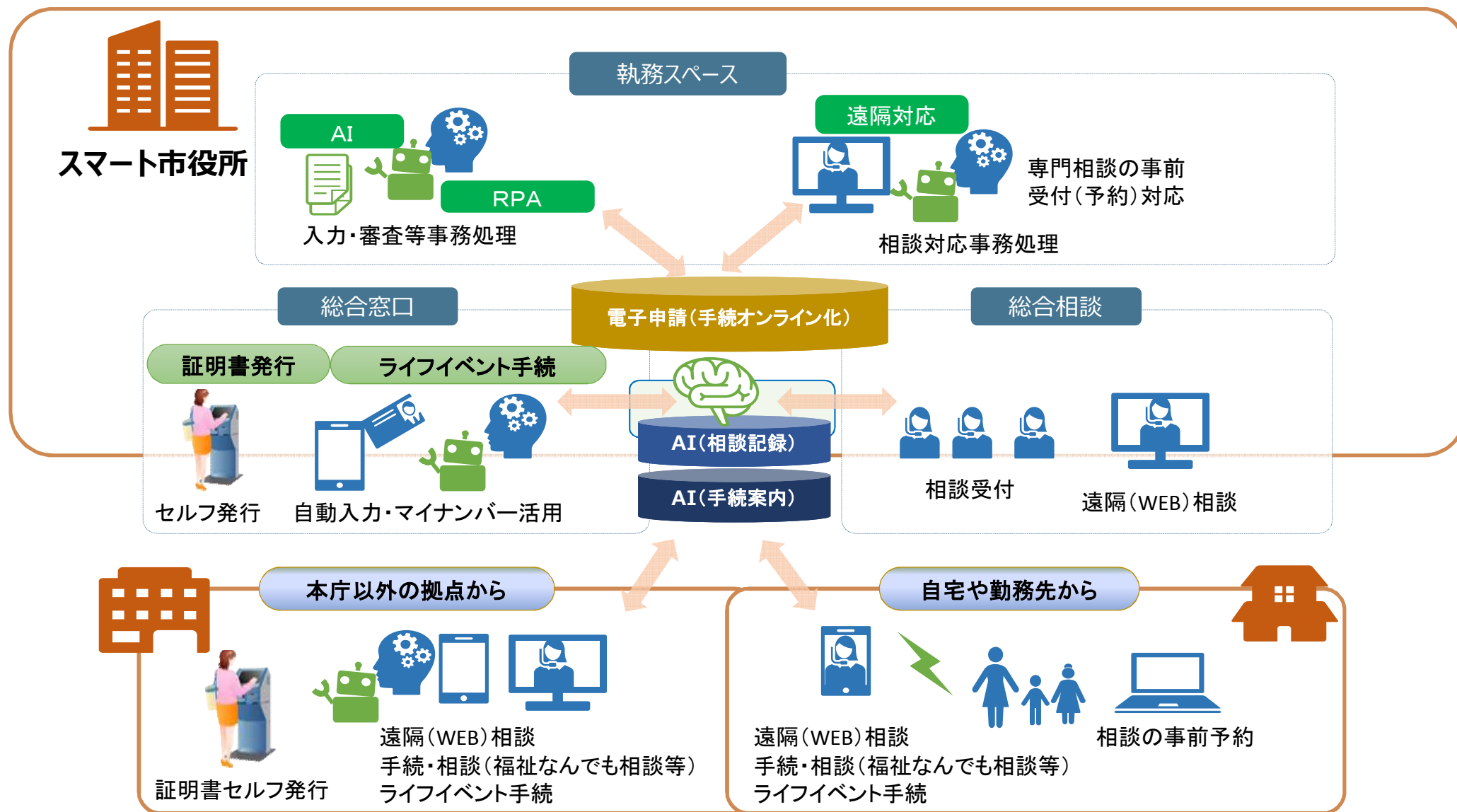


行政事務を AI や RPA を活用してデザイン ⇒ 業務の最適化・効率化（スマート自治体）



※ 総合支所・市民センター、地域包括支援センター、コンビニ、郵便局等

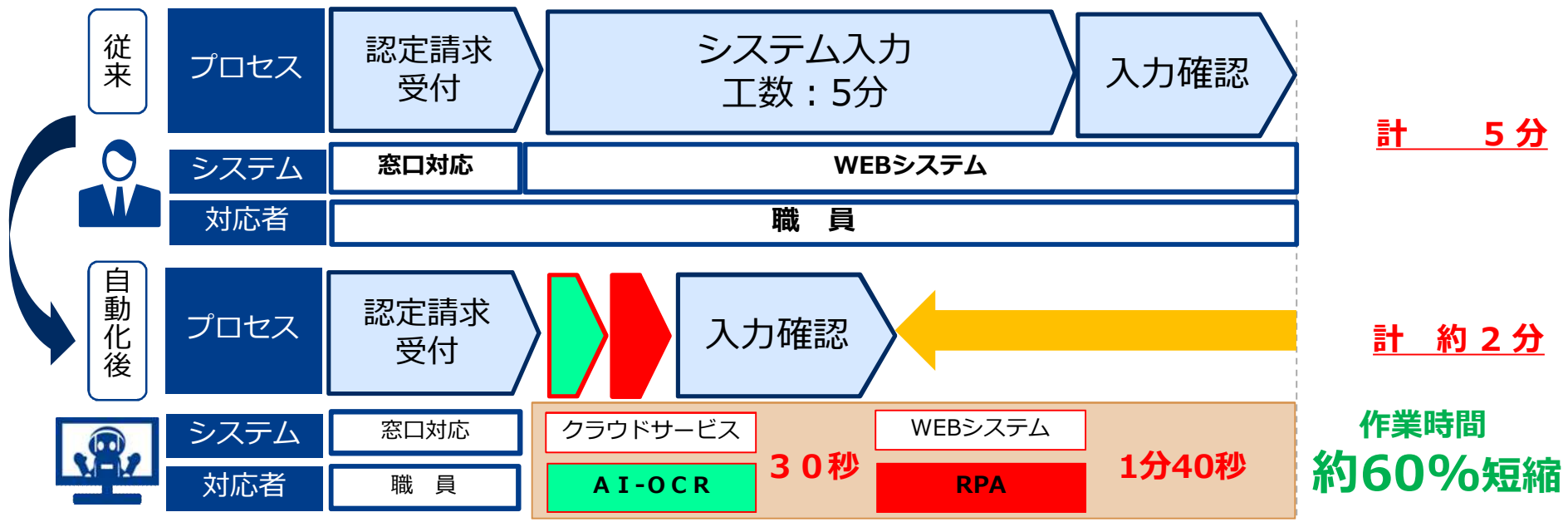
※ 宇部市デジタル市役所推進基本計画 より

※ 窓口の電子化だけでなく、バックヤードの電子化が必要 ⇒ RPAやAI-OCR の活用

RPA実証結果(+ AI-OCR)

(目的) 定型業務などRPA適用効果の高い業務を抽出し、業務プロセスにAI-OCR+RPAを導入することで、どの程度作業を効率化できるのか

■ RPA化例 児童手当認定請求 1件あたりの処理時間比較 ※年間 約1,000件

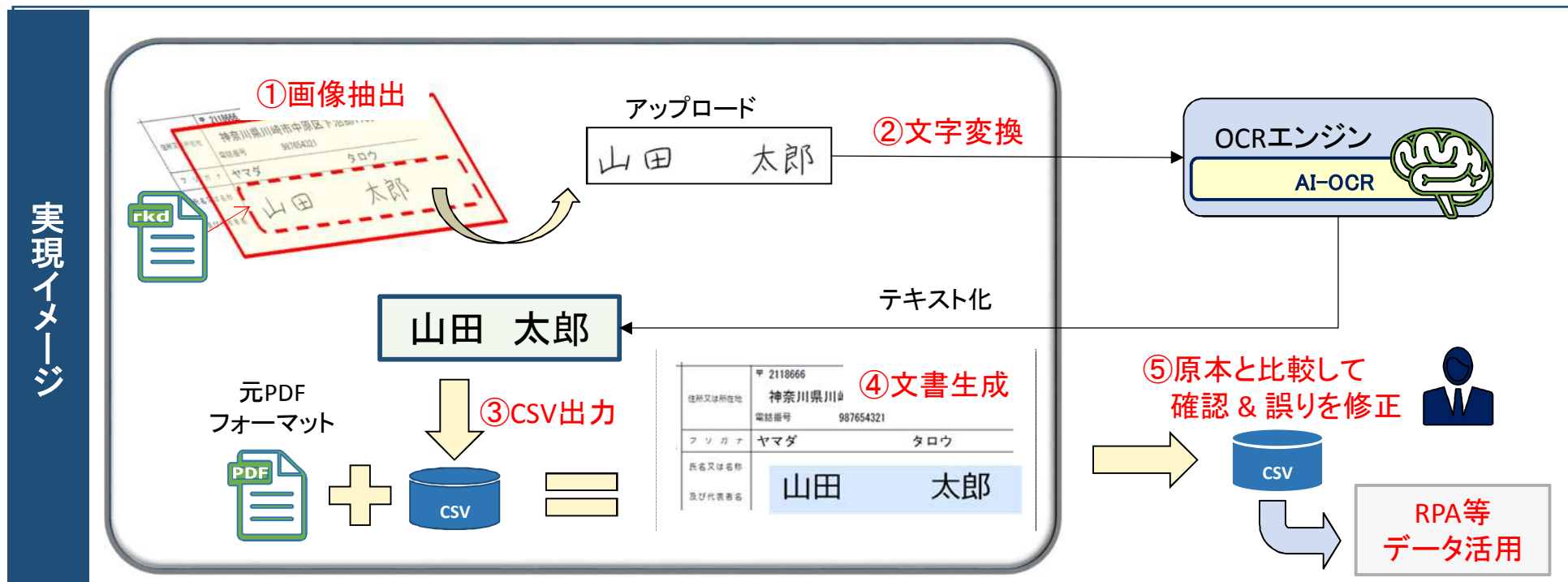


効率化が見込まれる実証業務を各課より抽出

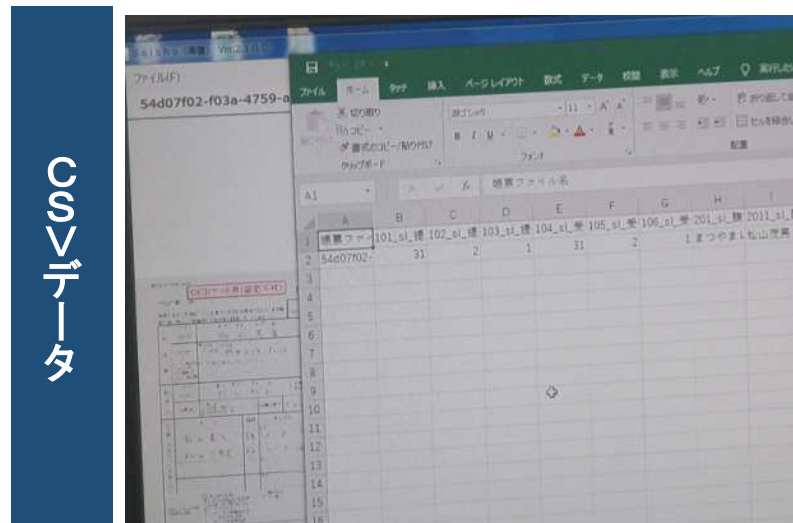
分析

従来	5,000 分/年
自動化後	2,000 分/年
効果: △3,000 分/年	

●手書き文字データ化(AI-OCR)



10枚
連続処理
350秒



●RPA の実証における結果 ※年間時間

実証業務	RPA前時間	RPA後時間	削減時間(%)
児童手当認定請求書 登録業務	80時間	32時間	48時間 (60%)
時間外データ集計, メール送信業務	40時間	1時間	39時間 (97%)
子育て支援支給認定請求書 登録業務	93時間	29時間	64時間 (69%)
生活保護ケース記録票 登録業務	288時間	29時間	259時間 (90%)
宛名・法人台帳 登録業務	4.3時間	1.7時間	2.6時間 (60%)
就学援助申請情報 登録業務	100時間	39時間	61時間 (61%)

※RPAで年間473.6時間削減（職員が入力から解放される時間 約600時間）

●AI-OCR の実証における結果 ※1枚あたり

実証業務	変換時間	変換精度
児童手当・特例給付 認定請求書	平均35秒	91.49%
ハローワーク宇部求人情報	平均71秒	63.75%
出生届・死亡届	平均44秒・55秒	90.28%・84.02%
就学援助申請書	平均36秒	90.7%